



今年の6月末から約2カ月にわたって、神戸聖ミカエル大聖堂の耐震改修工事が行われました。

その間は、地下ホールを臨時の礼拝所として、主日礼拝や教区のレクイエムが行われ、8月

末には九主日ぶりに聖堂で礼拝を行ふことができました。足場の組み立てだけで、1週間もかかる大工事でしたが、外に立つだけで目眩のしそうな炎天下の中、工事関係者の方々は1日も早い完成を目指して、礼

あるとき、『看板にある「ミカエル大聖堂」と『ミカエル教会』というのは別物ですか?』とおたずねがありましたので、傘下の営業所の一つが入っている『会社などで、本社ビルに、神戸教区の本社ビルのようなもので、

逝去者名簿には現在299名の逝去者名が記されており、逐次更新されているわけです。現在、ボランティアで協力してくれる信徒さんの力を借りりして、それらの逝去者のお名前前に間違いや、抜け落ちがない

秋祭りのこの時期、人間は様々な神輿を担いで神事を行いますが、神様は、「人は神像を作り、肩に担ぐが、実のところあなたたちは生まれた時から、私が背負い、担っているのです。(イザヤ書46章)」と諭されるのです。

わたしはあなたたちを造った。
わたしが担い、背負い、救い出す。

（イザヤ書46章4節）

大聖堂

日本聖公会
神戸教区報

神のおとずれ

2010年
10月号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<http://www.nskk.org/kobe/>

発行責任者
司祭 芳我秀一

印刷所
文明堂印刷所

われている聖餐式です。これは教区の礼拝として行われています。

るようになると、作業を行っていく
わけですが、いくら日本の教会会
の歴史が新しいからといっても
100年を超す時代の移り変わ
りの中では、残念ながら埋もれ
ていく記憶もあるでしょう。
冒頭に挙げた聖句は、イザヤ
書の一節です。

作業が行われる日には、礼拝時間をお伝しておきました。耳元で何十セントもある教会の大きな鐘をならして、びっくりさせてはいけないからです。

さて、「工事の間は地下の臨時
の礼拝所で」と書きましたが
実は大聖堂では1年を通して、
地下で行われている礼拝があります。
それは、地下にある八代
斌助主教記念チャペルで毎朝行

お答えしました
なるほどとは言っていただ
ましたが、色んな世界がある
ですねという顔もされていま
た。

私が背負う

最近、高齢者の所在が不明であるというニュースが良く流れます。

それらが出来るだけ少なくな

(神戸聖ミカエル教会牧師)

広島平和礼拝 2010

関係者28名、プール学院高等学校関係者10名、関係幼稚園の先生達等)から多数の参加者がありました。



参加者による 被爆体験記や詩の朗読

今年も、8月5日（木）～6日（金）にかけて広島復活教会を中心に、総勢約160名の参加者を得て6回目になる広島平和礼拝2010が行われました。今年は、遠くは東北教区から沖縄教区まで、25名の教区外参加者、また、聖公会の関係学校（神戸国際大学・附属高校関係者21名、松蔭大学・中学高校関係者28名、プール学院高等学校関係者10名、関係幼稚園の先生

アの方々をお招きして、被爆体験記や詩を朗読して頂き、また参加者も朗読を体験しました。聴くことで、悲惨な状況をます耳から感じ、その上で声に出して読み味わう事で、それぞれが被爆者の痛み悲しみに少しでも近づく事ができたようthought。何人かの方々が、聴き手が語り手になつていかなくてはいけない、と話されたことが印象的でした。

校生たちによって獻げられたことも、次世代に受け継いでもう意味で良かったです。



参加高校生たちが“韓国人原爆犠牲者
慰靈碑”に献花を行った

「『友達が
行くから、私
も行こうかな。
』
という軽い気
きを決めまし
持ちで広島行

参加者は、それぞれがよい経験を持って各持ち場に戻られました。

でしょうね。痛かったでしちゃう
ね。』と語りかけていたからな
のです。戦争すら知らない私に
は想像する事しかできません。
しかし想像することをしなけれ
ば、この先世界の平和などあり
得ないと思いませんか?』

つどい終了後、供養塔から世界平和記念聖堂まで約2km、歌をうたしながら平和行進を行いました。聖公会関係者は約150名余り参加されました。またゴールの世界平和記念聖堂ではカトリックと聖公会がともに平和祈願ミサにあずかりました。人間の命を奪い、大地をも傷つける戦争を拒否し、平和をともに築きあげる誓いを神にお献げし、世界各地の戦火がおさまることを祈りました。



原爆の子の像の前にて

明けて6日、原爆投下時間に合わせて、復活教会にて、原爆犠牲者追悼聖餐式を中村教区主教の司式・説教のもと行いました。出席者121名。原爆で犠牲になつた方々の魂の平安を祈り、平和を願い行動する力を求めました。信施金は、例年どおり築きあげる誓いを神にお献げし、世界各地の戦火がおさまることを祈りました。

「平和行進をリタイアする」となく歩き通せたのは、被爆者の皆さんへ『さぞかし暑かった

う。また、次の世代に原爆の悲惨さ、平和の大切さを伝える必要性から、若い人たちの参加を熱望していましたが、今年度は聖公会の関係学校から大勢の生徒・学生が参加してくださり、プログラムを盛り上げてくださいました。

カトリックとの合同プログラムなど課題はありますが、是非来年も7回目の広島平和礼拝行う予定です。皆さん広島では是非お会いしましょう。（坪井記）

第47回 中高生大会報告

8月17日(火)から20日(金)にかけて、『国立淡路青少年交流の家』で第47回中高生大会が開催されました。

今回の大会長は垂水伝道所の八代良寛君で、中高生約50人(小学校高学年含む)、キャンプ・サーバー、教役者を含めて約80人が集みました。

今大会のテーマは『道』で、朝夕の礼拝・聖餐式での獎励と説教をはじめ、ゴスペルシンガー・文屋範奈さんの「恐れず、神様にすべてをおまかせしよう」と呼びかけるトーカ&ライブによりて『みち』を示された参加者は、学年別ディスカッションや班別スタンツ、また近くの阿万海水浴場での遊泳などを通して、信仰・親交を深めました。

そして、特に大きな事故や問題も起こらず、中高生たちは感謝のうちに帰路(新たなかつ道)につきました。

(中原記)

年なので中高生として最後の年に大会長という役をさせていただき、大会を終えた今思う事は『感謝』のひと言です。

昨年から1年間、大変サポートしていただいた塙田先生を始め、垂水伝道所の方々、CSさん、教役者さん、大会を盛り上げてくれた役員、そして参加者の皆さん、いい大会に導いて下さり、また無事に終えさせて下さった神様に心より感謝したいと思います。ありがとうございます。

中高生大会は中高生で造るものですが、陰で色々な方に支えられているんだなという事を改めて実感しました。

僕が大会長をするあたり思つた事は、共に考え方話し合える大会にしようということでした。最近の中高生大会では、何か学ぶことがあってもそれについて考え、話し合うということが無くなってしまっているのではないか、と感じました。中高生大会の意義とは、多数の教会の同じ世代の子がイエス様を通じて共に学び考え、信仰を深めるものでないでしょうか。



文屋範奈さんのトーク&ライブ

の瀬山匠くんが大会長をします。不安や戸惑いなどあると思いますが、一人で悩まず本部をはじめ役員のみんなと共に支え合い、力を合わせ、すばらしい大会になることを祈っています。

(垂水伝道所)

文屋範奈さんと坂本真紀さんの講話、中村主教の説教や杉野神学生、池澤神学生のお話など、たくさん考えさせられる事があつたので、僕自身とても話し合う事ができました。

また、今年は海やBBQといった新鮮味のあるプログラムやスタンツや肝だめしもあり、時間のゆとりもあり、役員のおかげで僕自身とても充実することができました。握手会でたくさんの方に「めっちゃ良い大会やつたよ!」と言われ、大会長をやって本当に良かったなと思いました。参加者の心に残る大会であれば嬉しく思います。

来年は徳島インマヌエル教会

神戸教区中高生大会は、今年で47回目を数え、その歴史と参加規模は、他教区に類を見ない青少年信仰育成キャンプです。そして、半世紀近くも続くこの大会は、神戸教区だけでなく、今日の諸教会を担っている多くの聖職・信徒の方々を輩出しています。

中高生チャプレンから

司祭 バルナバ 濑山 会治

中高生チャプレンから

中高生自身が大会を企画、運営する」と言うことです。

中高生の役員たちは、大会長を中心自分たちの日常から今、最も重要なことを大会のテーマに掲げ、プログラムを計画していきます。そこには大会を作ることの難しさもありますが、仲間と一緒に作り上げるこ

ととの喜びを経験しています。私たちスタッフは、中高生が安全に、そして十分にその目的を達成することができるよう指導、支援しています。

「二人または三人がわたしの名によつて集まるところには、わたしもその中にいるのです。(マタイ18・20)」

数年前、他のどの班長よりも班員の面倒見が良く、積極的に行動していた中高生がいましたが、彼の教会の牧師は、かつて彼が学校ではいじめられ、いつも小さくなっていたけれども、中高生大会に参加して大きくなりわったことを話してくれました。彼は、中高生大会で新しい自分と信頼できる仲間、そして神様の大きな存在に出会って、前向きに生きられるようになったのではないでしょうか。

大会の特徴

中高生大会の最大の特徴は、「中高生自身が大会を企画、運営する」ということです。

中高生の役員たちは、大会長を中心に自分たちの日常から今、最も重要なことを大会のテーマに掲げ、プログラムを計画していきます。そこには大会を作ることの難しさもありますが、仲間と一緒に作り上げるこ

ととの喜びを経験しています。私たちスタッフは、中高生が安全に、そして十分にその目的を達成することができるよう指導、支援しています。

中高生大会への参加の有無にかかわらず、今後とも教区の青少年の信仰育成活動のためにお祈りとご協力をお願ひいたしま

第47回中高生大会を無事に終えることができました。高校3

中高生大会を終えて
大会長 フランチェスコ
八代 良寛

一〇〇九 信徒神学塾スクーリング

7月31日(土)、神戸聖ミカエル大聖堂を会場に信徒神学塾スクーリングが開催されました。参加者は過去最高の約80名。講師は高木慶子修女(援助修道会)と上原信幸司祭のお二人でした。

高木慶子修女



「人はなぜ、愛する人を亡くして、悲しむのか」と題された高木修女の講話はまさに、涙あり、笑いあり、「人は死に向かって生きているのではありません。死の方からやって来るのです。だから、神さまに全てを委ねて、生きる」ということが大切な死への準備となるのです」という豊富な臨床経験に裏付けられた言葉に一同、大きく共感をしました。

上原信幸司祭

上原信幸司祭

山野上司祭は、現在守口復活教会の牧師として勤務され、また併設されていますサポートハウス「守口ぶどうの家」の施設長として活躍されています。

同司祭は、長年企業や大学に勤務され、信徒として信仰生活

や知識を捨てて、どのようにして神のみに従うことが出来るのかなどお話し下さいました。きつかけを与えて下さいました。

これからも、多くの方が神からの呼びかけに耳を開かれて志願されることを願っています。

(聖職候補生養成委員会委員長
司祭ヨハネ芳我秀二)

「人はなぜ、愛する人を亡くして、悲しむのか」と題された高木修女の講話はまさに、涙あり、笑いあり、「人は死に向かって生きているのではありません。死の方からやって来るのです。だから、神さまに全てを委ねて、生きる」ということが大切な死への準備となるのです」という豊富な臨床経験に裏付けられた言葉に一同、大きく共感をしました。

—言葉ではなく暖かい心で寄り添うことの大切さ—を学ぶために「あなたが励ましてくれるから、私は：」と繰り返して歌う「YOU RAISE ME UP」(トリノ五輪での荒川静香さんのBGMで有名になった曲)を一同で味わい、講話の最後は、原田里香子姉のピアノの伴奏で「見上げてごらん、夜の星を」と「故郷—ふるさと」を、一同で合唱しました。

(神学塾運営委員長
司祭マルコ藤井尚人)



召命默想会を開催!

公示

日本聖公会神戸教区第78(定期)教区会を招集します。

2010年9月17日

日本聖公会神戸教区
教区會議長
主教 アンデレ 中村 豊

記

日 時: 2010年11月23日(火)
午前8時から午後5時まで

場 所: 神戸聖ミカエル大聖堂

書記を下記のように任命します。

司祭 シモン 原田 佳城
司祭 ペテロ 中原 康貴



工事期間、礼拝は地階ホールで守られました

神戸聖ミカエル大聖堂耐震改修工事完了

聖職候補生養成委員会主催の召命默想会が、8月24日(火)～26日(木)に宝塚默想の家にて開催されました。

今回は大阪教区の山野上素充司祭を黙想指導者としてお迎えして、「神がお与え下さった人生を全力で生きよう」という主題のもとに、総勢13名が参加して行われました。

講話では、召命にも様々な形があること、聖職に召される以前の人生も準備の期間として、また長年社会で培ってきた経験で神のご計画の中につながりました。

耐震改修工事感謝礼拝は本誌6頁の案内のように10月11日(月・祝)に行われます。

尚、9月から新しく開講される信徒神学塾は以下の2講座であります。「アングリカニズム・私たちの信仰の起源を訪ねて(横浜教区 大野清夫司祭)」「礼拝学入門(ウイリアムス神学館長吉田雅人司祭)」。

6月21日に着工した耐震改修工事は8月末に完了。8月29日(日)に、久々に大聖堂での主日礼拝が守られました。大聖堂耐震改修工事感謝礼拝は本誌6頁の案内のように10月11日(月・祝)に行われます。

神戸聖ミカエル大聖堂耐震改修工事完了感謝礼拝

キッズクワイアー
子ども聖歌隊員 募集!

日 時：2010年10月11日(体育の日) 午前10時30分～

場 所：神戸聖ミカエル大聖堂

歌う歌：「大波のように」(増補版6番)

「空の鳥は」(344)

「歌え！ホサナと」(308)

歌う時：耐震工事完了感謝礼拝の「陪餐中」に歌います。

対 象：神戸教区に属する幼～小・中学生

練習日：前日10月10日(日) 午後4時30分～午後5時

神戸聖ミカエル大聖堂で練習をします。

原田里香子さんが歌唱指導をして下さいます。

【牧師先生へのお願い】

各教会で参加者を募集下さり、参加者名をメイルか電話で藤井司祭(式典長)までお知らせ下さい。締め切りは、10月3日(日)です。又、それぞれの日曜学校で練習をお願いします。

キリストの平和

2010年9月5日 式典長 司祭 マルコ 藤井 尚人

(感謝礼拝・祝賀会案内は6頁に)

今夏の諸行事から

長崎平和礼拝に参列

神戸・九州・沖縄教区間協同の一環として、九州教区長崎平和礼拝に当教区から、私、上原信幸司祭、林和広司祭、永野拓也兄の4名が参列しました。広島復活教会からも小林尚明司祭ほか4名、また関係学校の神戸松蔭女子学院大学から、チャップレンの藤井尚人司祭ほか、学生と教職員22名が、平和学習プログラムとしてこの礼拝に参列し、神戸教区方面から思いのほか大勢が集う事になりました。

長崎原爆犠牲者の魂の平安を祈つて献花をし、平和への決意を新たにすると共に、九州教区

との交わりを深める機会となりました。

(常置委員長

司祭 ヨハネ 芳我 秀二)

長崎聖三一教会での平和礼拝にて
礼拝堂壁面にある原爆犠牲者名板に献花を行った

◎広島伝道区

日曜学校合同キャンプ

7月26日(月)～27日(火)、

広島県大竹市のプレイパーク蛇喰を会場に、広島伝道区内の教

会からスタッフと参加者合わせて約30名が参加して開催されました。

キャンプでは川遊びやスイカ割りや花火をしたり、夏休みの工作として竹とんぼを作ったりして、参加者はとても有意義な時間を過ごしました。



広島伝道区合同日曜学校キャンプ

日曜学校キャンプ報告

参加者は小学生27名、スタッフ8名でした。



米子聖ニコラス教会子どもの教会キャンプ

◎徳島テモテ教会

日曜学校キャンプ

(土)～15日(日)に教会にて

行いました。みんなで食事を作

り、花火などを楽しみました。

7名参加。



徳島インマヌエル教会日曜学校キャンプ

◎徳島聖テモテ教会

日曜学校キャンプ

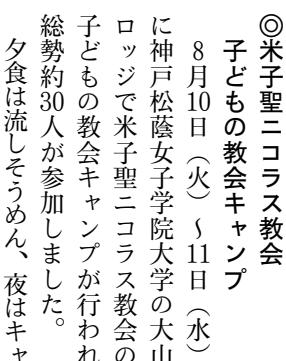
日曜学校のキャンプを8月14

(土)～15日(日)に教会にて

行いました。みんなで食事を作

り、花火などを楽しみました。

7名参加。



◎米子聖ニコラス教会
子どもの教会キャンプ
8月10日(火)～11日(水)
に神戸松蔭女子学院大学の大山ロッジで米子聖ニコラス教会の子どもの教会キャンプが行われ、総勢約30人が参加しました。夕食は流しそうめん、夜はキャ



徳島テモテ教会日曜学校キャンプ

11月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時 2010年11月4日(木)午前10:30
 場所 神戸聖ミカエル大聖堂
 司式 主教 中村 豊
 説教 司祭 上原 信幸

11月の記念逝去教役者

1日	司祭	レイモンド C. クリストファー
3日	司祭	山本 早太
4日	司祭	パウロ 山辺 久吉
8日	宣教師	ヴァイオレット ハイド
9日	司祭	アンデレ 児玉 正
13日	司祭	モーセ 木俣 茂世
17日	伝道師	ルデア 内田 歌子
17日	司祭	ウイリアム H. ハンコック
18日	伝道師	チッポラ 末好 信子
19日	司祭	ヨハネ 側垣 正己
20日	司祭	パウロ 秋田 哲三
22日	伝道師	塩原 以満
28日	宣教師	ジャネット マッキー
30日	宣教師	エイミ C. ボサンケット

逝去年月日不明の方々も祈ります。

10月24日(日) 社会事業の日

この主日には社会事業のために祈りを献げ、当日の信施金は管区を通して、社会事業の活動のためにお献げください。



炊き出しと共に「足湯」のサービスも好評でした

聖ミカエル大聖堂耐震改修工事 献金のお願い

工事総額 4,900万円
 内 耐震補強工事 2,960万円
 改修工事 1,940万円
 工事収入 神戸聖ミカエル教会献金 3,000万円

大聖堂耐震改修工事献金 1,900万円

献金期間 2010年7月1日より
 2011年3月31日まで

献金方法

- 配布された献金袋に献金予約をし、礼拝時に献げていただく
- 郵便振込用紙を用いて献金していただく
 郵便振込口座 01190-5-43427
 加入者名 日本聖公会神戸教区

※詳細については神戸教区事務所(078-351-5469)
 までお問い合わせください。郵便振込用紙は各教会に配布済みですが、余分が必要な場合は教区事務所にまでご連絡ください。

8月19日(木) セシリヤ	8月15日(日) アピア	8月13日(金) クリストファ	8月16日(月) カララ	8月16日(月) プリスキラ
神戸聖ミカエル教会 守屋幸子(79歳)	米子聖ニコラス教会 定家孝子(62歳)	井上高宏(50歳)	平野佳実	平野佳奈
姫路顯栄教会			呉信愛教会	

『次号予定』

徳島伝道区信徒修養会ほか
年記念行事

イザヤ 東 直道さん
神戸聖ヨハネ教会より
北関東教区
日立聖アンデレ教会へ

ボーリン・エリザベス・
ボールドウインさん
カナダ聖公会より
広島復活教会へ

8月15日(日)
教籍移動

◎広島復活教会

8月22日(日)、教会隣接の公園での、ホームレスの人達への炊き出しも8月で1年になりました。1年を記念して今回は「カツカレー」を提供しました。また「足湯」のサービスが行われて、とても喜ばれました。来られた方は56名でした。来広島平和礼拝と共にしているカトリックの皆さんともよい交わりが出来ています。

広島伝道区

日本聖公会、神戸教区 神戸聖ミカエル大聖堂 耐震改修工事完了感謝礼拝のご案内

日本聖公会神戸教区 教役者・信徒各位

主の恵みと平和が豊かにありますように。

神戸聖ミカエル大聖堂聖別50年記念行事の一環として、耐震改修工事を6月半ばより実施しておりましたが、8月末、無事に工事を終えることができました。これを感謝し、下記の通り、式典を実施します。関係各位におかれましては、万障お繰り合せの上、式典にご参加くださいますようご案内申し上げます。

2010年9月
神戸教区主教 アンデレ 中村 豊

【日 時】2010年10月11日(月・休日) 10時30分より
 【会 場】日本聖公会神戸聖ミカエル大聖堂
 (神戸市中央区下山手通5-11-1)

第I部 感謝聖餐式(10:30~11:50) 司式・説教 中村豊教区主教

奏楽 松原晴美(桃山学院大学オルガニスト・堺聖テモテ教会信徒)

第II部 耐震改修工事完了感謝の辞(11:50~12:00)

第III部 祝賀ミニコンサート(12:00~13:00)

マリンバ演奏 内海佳子氏 テノール独唱 小貫岩夫氏

第IV部 食事(13:00~) 大聖堂庭に用意されています。

【申込方法】各教会配布の案内に同封のハガキ、あるいはファックスで。

【申込先】神戸教区事務所(TEL078-351-5469 FAX078-382-1095)

【締切】2010年9月27日(月)